

社会福祉法人 黒松内つくし園 老人福祉施設

慶和園



慶和園の D&I 外国人宿舎「シェアハウス スマイル」がオープン

当法人事業計画にある D&I (ダイバーシティ&インクルージョン: 多様性の受容・多文化共生) の取組みの一環として、この度、外国人就労者向けの住宅が慶和園 2 階に完成。外国人宿舎「シェアハウス スマイル」として 4 月よりオープンいたしました。当法人で働く外国人の皆さんが安心安全に生活し、就労できるよう運営して参ります。オープン前には、入居者向けの説明会が開催され、生活上のルールの確認はもちろん、シェアハウスでの生活を通じて、多文化共生の理念を学び、お互い敬い合い協力して生活を送ることの大切さについて学びました。



~ご利用者に訊く~ 私の歩みかた



せせらぎユニット
上田 ハツエ 様
慶和園在住：7年5ヶ月

上田ハツエ様は、現在 98 歳。今回、これまでの歩みについてお話を伺いますと大変恐縮されておりましたが、ご家族を大切に想う一面を覗かせていただきました。「私自身生まれも育ちも決して裕福ではなかったし、結婚してからも子供たちに欲しいものも買ってあげられず、大変苦労をかけた。」とのこと。そんな中でもご家族を、お子様を、大切にされ、お子様への想いは『山よりも高く、海よりも深し』の言葉の通り、と語ってくれました。

今でも TV を見ているとき、家族のこと・お子さんへの様々な想いがふと浮かび、複雑な心情になるとのこと。「自分は口下手で、気が小さいから…」とお話する上田さんですが、いつも周囲の方へのお気遣いを忘れません。「年を重ねたけど、皆さんが良くしてくれて感謝です。」と笑顔でお話ししてくれました。好きな時間は、懐メロ歌番組。「兄弟船」「親父の海」などの曲がかかると元気をもらうそうです。今回のインタビューへのご協力誠に有難うございました。

慶和園だよりに掲載の
「いろんな 羊蹄山」を募集します!! 写真・絵画作品 etc…
※作品をご提供いただける方のご連絡お待ちしております。

京極中学校ボランティア委員会の皆様より
「モザイク写真アートの羊蹄山」を頂きました
この度、京極中学校ボランティア委員会の皆様が慶和園ご利用者を元気づけようと、各生徒さんの顔写真を重ねあわせて作成した「モザイク写真アート羊蹄山」の作品（今月号の見出しとして掲載）を寄贈して下さいました。コロナ禍でなかなか会えない日々が続いていた中で、何とか元気を届けたいとの思いで作成してくれたとのこと。贈呈式当日には、ご利用者を代表して親睦会役員の皆さんが出席。見事な出来栄えに感心されました。生徒の皆様ありがとうございました。



※作品は現在 1 階ホールにて展示しております。



-慶和園運営方針-

- ・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。
-私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます-
- ・慶和園は一人ひとりを大切にします。
-私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します。
- ・慶和園は地域とのつながりを大切にします。
-私たちは、地域における役割を理解し信頼を得られる行動をとります。

『慶和園だより』NO.256 令和4年5月10日発行
〒044-0132 虹田郡京極町字更進 780番地1
TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209

編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会
発行責任者：施設長 深谷 剛

※「慶和園」だよりに掲載の個人情報は、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。



慶和園「わたしたちの深化・進化」
～各ユニット 2022年度・取組紹介～

きょうごく・しりべつユニット

2022年度の慶和園運営テーマは、「ご利用者のために深化宣言！」～私たちも進化しよう！！～です。そこで、今年度の各ユニット・セクションにおける「しんか」の取組を紹介させていただきます。今月は「きょうごく・しりべつユニット」からの紹介です。



私達、きょうごく・しりべつユニットが今年度「深化・進化」を目指していることは職員・ご利用者・ご家族との関わりです。職員・ご利用者については年間計画の目標で掲げましたが「日々の会話を大切にする」ことを意識して取り組みます。ご家族との関わりについては昨年までは行事開催後にそのときの写真を送付していましたが、今年は生活を送っている中での日々の何気ない様子をご家族への手紙で発信していくと考えています。また、少しでもご家族と関わるように行事をを行う際には、事前にお伝えし、希望された皆



様には実際に参加して頂いたり、リモート面会のように実況をして「きょうごく・しりべつユニットありのままの様子」を知っていただく機会をつくれればと考えています。

全60台！車椅子清掃ボランティア

4月29日（金）天理教京極分教会の皆様10名が慶和園にご来園。車椅子の清掃作業の一役を買ってくださいました。コロナ禍前までは、毎年この日（ひのきしんDAY）にあわせて活動していただいておりましたが、ここ2年は慶和園での活動ができませんでした。この度ご来園が実現しご利用者・職員一同、大変嬉しい限りです。全部で60台にもなる車椅子、歩行器、シルバーカーをピカピカに磨きあげ、最後の仕上げに車輪への油差しと空気圧の確認で、スムーズな稼働が可能となりました。ご利用者の皆さんからはこの活動への感謝の声があがっていました。



【2022年5月10日～6月の行事予定】

【5月】

11・18・25日	畑クラブ	【6月】	1・8・15・22・29日
12・19・26日	ちょこっと体操		畑クラブ
13日 外国人就労者着任（2名）		2・9・16・23・30日	ちょこっと体操
18日 カメムシ駆除剤散布			
20日 活花サークル		13日 出張理容	
23日 出張理容（竹山美容室）			（サロンドシエル）
25日 ようていふきだしUT企画		23日 防災訓練	
27日 養護：ご利用者との懇談会		29日 ようていふきだしUT企画	
特養回診日：10・17・24日			
養護回診日：12・19・26日			
		特養回診日：14・21・28日	
			養護回診日：9・16・23日

2022年度 広報委員会 紹介



新年度にあわせ、広報委員会が変更になりましたので紹介いたします。ご利用者・ご家族・地域の皆様に親しみを感じていただけるような情報を発信していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

左：分銅 恵汰 編集長（特養介護員）

中央：佐藤 瑛美莉 委員長（特養介護サブリーダー）

右：瀧谷 剛 発行責任者（施設長）

【ご厚志に感謝いたします。】

4月1日～30日分 《敬称略》順不同

【寄付品】-有馬正幸（京極町）-酒井 勇（同）-押田浩子（共和町）-ヨシヤ（小樽市）-中島康夫（札幌市）-金子孝廣（同）-藤岡幸弘（同）-川崎ひろみ（同）-吉田 保（愛知県豊橋市）-馬屋原 鉄男（千葉県流山市）-内山由昭（神奈川県平塚市）以上

～相手の心を想う～ 施設長が考えたこと。

多様性の受容がとり出されています。当法人も女性活躍、多文化共生、LGBTへの理解等あらゆるキャリア・価値観を受け入れた取組みをすすめています。慶和園においても新人類、バブル、氷河期、ミレニアル、Z世代など多世代の価値観はもちろん、ベトナム、カンボジア、そしてこの5月からはインドネシアからのスタッフを仲間に加え運営を進めます。様々な働き手の価値観を認め合いつつ、ご利用者の価値観を専門職として最大限尊重していくこと。当園の「しんか」が問われる今年度です。施設長 瀧谷剛